

8月27日

ちよっぴり秋の雰囲気

かん どう こ
岩洞湖

に行ってきましたよ!

▼タムラソウも
花盛りでした*



初夏～夏にはギンヤマや
シオカラトンボなど、めずらしいトンボにも
出会えます。



お池の周りには ミズギクがいっぱい咲いていました。



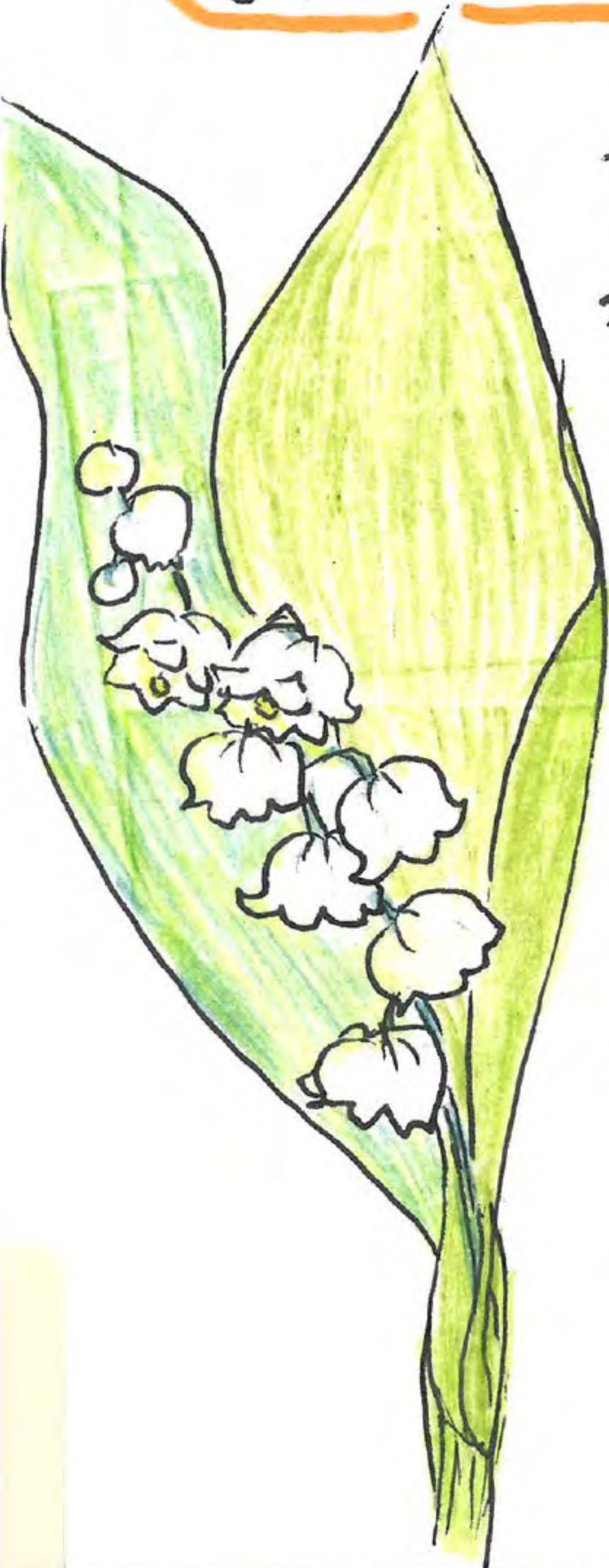
これは何の**実**?

私のふるさと 玉山村(現盛岡市)の村の花 **すずらん**です。

その昔、アイヌの村に暮らすカハラペという美しい娘がいました。ある日、恋人の勇者キロアンが山に狩りに出ましたが巨大なヒクマに襲われ死んでしまいます。それを知ったカハラペは悲しみのあまり、恋人の小刀で自害してしまいます。以来、スズランはカハラペの流した血のような赤い実をつけるようになったのだそうです。(アイヌの伝説より)



すずらんはとてもいい香りがするので香水や結婚式のブーケなどにも使われるのですが、全草(特に花と根)に毒があります。絶対食べちゃダメ!! です。ちなみに玉山のスズランは5月20日頃～6月上旬が見頃です ♪



センブリもかわいいでしょ。

ドクダミ・ゲンシショウコと共に「日本三大民間薬」といわれるセンブリ。おなかの薬になるのですが、とにかく苦~~~~い!! 名前の由来は、「千回振り出しても(煮出しても)苦い」からセンブリ。

でも、最近の研究によると、苦味自体に整腸作用は無いんだとか。貴重な植物なので目で見て楽しんだ方がリラックス効果があるかも?



でっかいきのこを発見したよ!!



うわ!! でっか!!!

思わず1人で叫んでしまいました💧 コイツの正体は「ムレオオイチョウタケ」と申します。食べると胃が痛くなるから食べないでね。傘の直径が30センチはあろうかという大物。私の手がちっちゃく見える...



たまごたけもあったよ



写真に撮ってもかわいい♡



たまごみたいな白いツボから生えてくるのでタマゴタケといいます。真赤で毒かと思うけど、実は食べられます。私は夏バテするとおかゆにたまごたけを入れたきのこがゆを食べます。くれぐれも似てる毒きのこには気をつけて!!

カナヘビさんもいたよ
(ムカシトカゲで口平はれる)

写真ではヘビみたいに見えるけど、ちゃんと手足があります。瞬足で逃げるので記念撮影にも一苦労。ケムシとか虫も食べてくれる、とてもいい子です。



この子たちは
アザミだよ →

アザミは漢字で「薊」と書きます。植物を表す「艹」草かんまりに「魚」は「トゲトゲ」した骨がある、「リ」は刀で「刺さる」という意味なんだそうです。「アザミ」は「白と紫の交^{まじ}みたる(混ぜてる)」という昔の説明から付いたんじゃないかという説があります。



サワアザミ
草丈は2m以上に育ちます。若い茎はフキのように皮をむいて山菜として利用します。



ノアザミ
タムラソウに似てるけど、背は60cmくらい。

アザミじゃないよ タムラソウだよ

高さは150cm ~ 2mくらいあります。

と、言われてもアザミとそっくりですが、アザミはキク科アザミ属、タムラソウはタムラソウ属に分類されていて、別の種類の植物なんですよ。簡単に言うと、アザミにはトゲがあるけど、タムラソウには全くトゲはありません。ところで、「タムラ」って誰？ という話ですが、田村さんじゃなくて、小さい花が玉のように群がって咲くので「玉群草(たまむらそう)」が語源ではないかと言われています。



トリカブト がたくさんあるよ



毎年、お盆頃になるとトリカブトのお花が咲きはじめます。トリカブトにも種類がありますが、写真のものはオクトリカブトと言います。

トリカブトといえは猛毒です。昔から附子(ぶす)という名で薬として扱われてきました。かわいくない子を「ブス」と言ったりしますが、元はトリカブトの毒を誤って摂ってしまったために神経に障害が出て表情がうまく作れなくなった人の症状をブスと呼んだのだそうです。附子は一休さんのお話や四谷怪談にも登場します。(一休さんのお話は2017年のおでかけ日記に書いてあるよ!)

西洋では monkshood といいます
(お坊さんのかぶりもの)

東海道四谷怪談

武家の娘、お岩はお産のために実家に帰っているが、藩の高官の娘、お梅に心変わりした夫、伊右衛門に附子(トリカブトの毒)を飲ませ顔が崩れてしまう。苦しみ、のたうち回るうち、近くにあった刀が刺さり、お岩は死んでしまう。訃画どおりお梅と夫婦になった伊右衛門だったが、毎夜お岩の霊に祟られ、ついには舌いじりしてお梅一家を切り殺し、最後は自らにも刃をつき立てる。



秋の野原のお花さんたち いろいろ



ウメバチソウ
お花の形が梅を型どった家紋の
梅鉢紋に似ているので名前がつけました。
← デザインは色々あります。



▼ ゴマナ

ツリガネニンジン
この辺りでは「ノノバ」と呼んで
若い葉っぱを天ぷらで
たべます。



オミナエシ
そっくりで白いお花を
咲かせるものはオトコエシ
(男郎花)といいます。



ユウカギク
柚子のような香りが
するので柚香菊だ
そうですが、実際は
特に香りはない
ような気がします。





ハンゴゾウ
漢字で書くと「反云鬼草」
云鬼が反って(帰って)くると
幽霊です。手の平みたいな
形をしている葉っぱが
風に揺れると、その影が
幽霊みたいに見える
ことから、そんな名前が
ついたとか...

▼ヤマハギ



▼シラヤマギク



▼アキカラマツ



▼オヤマリンドウ



ウド

山菜のウドは食べるけど、ウドの花は
あんまり見ることないと思います。花の天ぷらも
おいしいよ!

キンミスヒキ

種が「スポン」にくっくと
盗みに入った言正処
になっちゃうので
別名=ドロボウ
とも呼ばれます。

